

講座名	【選択】 教育臨床の課題解決の糸口を探るⅢ				
開講日	平成30年8月7日(火) (予備日8月10日)				
時間数	6時間	講座の形態		講義	
受講予定者数	40名	履修認定対象 職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な受講対象	全教員
講座の到達目標	<p>講義1：非行問題の背景には、家庭・地域社会の育成機能の低下、社会全体の規範意識の低下などの要因が複雑に絡み合っている。そこで非行問題の克服への視点を介して生徒理解を深める。</p> <p>講義2：教師や児童生徒の感情コントロールについて理解すると共に感情共有を体験することができる。</p>				
講座の概要	<p>講義1：当事者の社会性と発達課題の理解を基に支援の糸口を探る。</p> <p>講義2：学びの共同体を構築する同僚性について「感情労働」の視点から考察し、グループワークにより、課題解決の糸口を見つける学びをする。</p>				
講座の計画	1時限	講義1：今日の少年理解と支援のあり方および教師の役割			
	2時限				
	3時限	講義2：「感情労働」から「同僚性」の構築へ			
	4時限				
		試験(30分程度)			
修了確認の方法	筆記試験の評価による				
成績評価の視点	講義内容を自分の実践的観点と論理でまとめているか				
備考	1時限は90分 テキストは使用しない。資料は授業時適宜配布する。				
担当者	<p>講義Ⅰ 折出健二(看護学部教授) (ゲストスピーカー 高坂朝人(再非行防止サポートセンター))</p> <p>講義Ⅱ 森川英子(看護学部准教授)</p>				